

「道」の「自由使用」と「目的外使用」についての考察

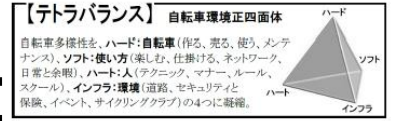
日常利用とスポーツ利用の二面性の考察



ザッピング企画とサスティナブル企画の融合



ハード・ソフト・インフラ・ハートからの考察



「地域資源巡りゲーム旅のネタ探しを、ジャンルを超えて行う」という意味のキャッチフレーズ

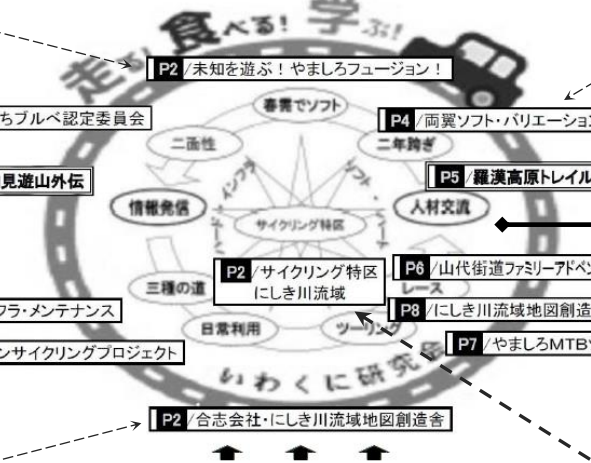
サイクリストの実力認定システムの山口県版。組織で遊ぶ、旅と競技の二面性を持つ「ツーリングコンペティション」の要部署！

「～物見遊山外伝」と題したパンフまたはリーフレットで定期的に情報発信！

アクセラート & 観光トレイルのメンテナンスや、地域資源磨きをする人材の確保

サイクリングネットワーク再構築のタスクフォースとして 2015/07/01 に考えたネーミング

走る食べる学ぶ、地域資源巡りゲーム旅用のトレジャーマップ作りを行う任意団体



PR企画としてのクローズドサーキットレースとオープンロードラリー。ニーズに合わせたゲーム旅バリエーションのバランス

羅漢高原トレイルパーク構想を通じた拠点作りと人材交流

【P5】羅漢高原トレイルパーク共同管理委員会

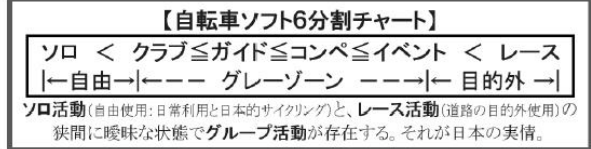
【P11】ポジショニングマップより

ザッピング企画と本格アドベンチャーレースの提案

任意団体+商工会+行政=融合企画の象徴

「MTB企画は地域を救う！」を支える認知リソース先達

近未来のパーソナル移動手段の考察、および、地方都市や中山間地のインフラや、地域資源等のメンテナンスの「日本の実情」を考える



サイクリングの法的根拠の考察

ツーリングとレースの境目、個人タイムトライアルの国内最長は日本縦断だろう。独りツーリングコンペティションとも言える日本縦断に学生時代に何度か挑戦。と言う訳でもないが、旅と言う名の自転車“道”遊びに魅せられて、その楽しさやノウハウを伝えようとしたが、サイクリング関係者との勉強会等で、それが難しい『日本の実情』に昭和の終わりに気付いてしまった。それは平成のMTBブームやエコ系自転車ブームを経て、さらに自転車活用推進法成立後の令和になってもサイクリングの法的根拠の曖昧さ、“道”の「自由使用」と「目的外使用」として残っている。

《山代街道物見遊山外伝//サイクリング特区にしき川流域》

地域ブランド磨き後方支援企画へのご協力をお願い

「合志会社・にしき川流域地図創造舎//未知を遊ぶ！やましろフュージョン！」

00: 目的外使用と等身大企画
01: 軸はゲーム旅
02: 呼び掛け
03: ダブル・インフラ
04: ダブル・ソフト

05: トレイルメンテナンス
06: トレジャーポイント
07: ツアーズ
08: ゲーム旅
09: 三方が海のこのエリアへ
10: 縄文が源流のこの国へ

「岩国市への提言
・第二弾」
「山口県への報連相」
<http://www.bike-joy.com/ICD.htm>



11: ポジショニングマップ案/とは？
12: スケジュール案
13: まとめ